

目次

序章 はじめに	1
第1章 エンジニアからコンサルティング・エンジニアへ	5
1.1 創世記のエンジニア	6
1.2 軍事技術者の分化	8
1.3 Civil Engineerの誕生	8
1.4 コンサルティング・エンジニアの嚆矢レオナルド・ダ・ヴィンチ	9
1.5 エンジニアの訓練制度	10
1.6 本邦におけるコンサルティング・エンジニアの成立 ..	14
1.7 外国技術の導入期	15
1.8 大東亜戦争敗戦後	16
1.9 近代日本のConsulting Engineer＝技術士の誕生	16
1.10 Consulting Engineerの定義	17
第2章 技術士	21
2.1 技術士のあらし	22
2.2 技術士の位置付けの変化	23
2.3 技術士法の法文理解	26
2.4 技術士になるには	33
2.5 技術士業務のあらし	37
2.6 まとめ	41
第3章 技術士三次試験	43
3.1 三次試験受験資格	44
3.2 三次試験受験 ＝ 開業	56
3.3 技術士業で考えること	69

3. 4	開業・自営技術士の楽しさと辛さ	78
3. 5	創造工学研究所の活用	83
3. 6	まとめ	85
第4章	技術士開業の手引き	87
4. 1	開業・自営の準備について	88
4. 2	事務所の必要性について	92
4. 3	法人化の是非	95
4. 4	税務処理の知識	96
4. 5	日本技術士会への入会について	99
4. 6	営業活動	100
4. 7	技術の枯渇対策	104
4. 8	事務機器は何をそろえるべきか	106
4. 9	保険・年金その他の保障について	109
4. 10	健康管理	110
4. 11	他に取得すべき資格	111
4. 12	高齢化時代への対応	112
4. 13	家族の協力を得るには	113
4. 14	その他	115
第5章	技術士の理想像—魅力ある技術コンサルタントの条件	117
5. 1	人間的魅力	118
5. 2	技術士業務の進め方 - 方向感覚と戦略	123
5. 3	技術士業務のPRと営業	125
5. 4	技術の原点と広がり	129
5. 5	人口減少時代の技術士業務	131
5. 6	技術士の倫理観	132
5. 7	国際感覚の涵養	134
5. 8	フロー型技術開発のすすめ	135

5.9 まとめ	137
第6章 創造の十里塚	139
一里塚:発想の原点	139
二里塚:適性と情報	142
三里塚:ここに留めたい言葉	143
四里塚:現場主義	145
五里塚:異種との交流	147
六里塚:再創造	148
七里塚:創造の発現	150
八里塚:創造的資質	151
九里塚:探究心	151
十里塚:創造性の錬成	154
第7章 おわりに	157